

I. 広東省

1. 香港返還20周年記念関連イベント等

●25日晚、香港返還20周年を祝い、第19回党大会を勝利のうちに迎えるため、省党委員会、省政府主催、省党宣伝部、省文化庁、省政府香港・マカオ事務弁公室実施の音楽会が中山記念堂で開催された。馬興瑞・省長、任学鋒・広州市党書記、何忠友・副省長、施克輝・省紀律検査委員会書記、江凌・省党秘書長兼弁公室主任、嚴植蟬・省統一戦線部長、曾志権・省党常務委員（前省財政庁長）、陳小川・省人代副主任（元陽江市党書記）、陳雲賢・省政府党組織メンバー（元副省長）、鄭紅・省検察院検察長が出席（6月26日付『南方日報』）。

●香港返還20周年記念日を迎えるにあたり、馬興瑞・省長と温国輝・広州市長が新華社記者のインタビューに応じ、広東省と香港の協力によってもたらされた豊富な成果について全面的に紹介した（6月26日付『南方日報』、27日付『広州日報』）。

●27日、「広東と香港の協力20枚」と題する写真展が広州市で開催され、胡春華・省党書記、馬興瑞・省長、李玉妹・省人代主任等が見学を訪れた（6月28日付『南方日報』）。

2. 改革の全面深化に関する省党指導グループ第26回会議の開催

●26日午前、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「第18期三中全会から広東省が推進してきた改革の全面深化に関する主な進捗状況」について審議した。また、公安による法律執行の規範化、弁護士制度の改革、省弁護士協会の強化、法に基づく弁護士業務の権利保障等の改革関連文書について審議し採択。更に、広東国家自主イノベーションモデル区建設弁公室、深圳市・仏山市・広州市黄埔区から、イノベーションによる発展の進捗状況について聴取（6月27日付『南方日報』）。

3. 第3回中国・イスラエル科学技術イノベーション投資大会の開催

●27日、珠海市で上記大会が開幕し、国家級中国・イスラエル・イノベーション基金が正式にスタートした。初期の投資額は10億元で、主にイスラエルのハイテク企業や両国の重要な協力プロジェクトを対象とし、同国のプロジェクトを中国へ誘致するよう促進していく。同大会には両国2700社以上の企業、5200人余りが出席。13の重要な協力プロジェクト（投資ファンド、ハイエンド製造業、現代農業、通信技術、産業パーク等）に署名し、その総額は25億米ドルに達した（6月27日～30日付『南方日報』）。

4. 省党常務委員会会議の開催

●27日、胡春華・省党書記主宰の上記会議で、「省の農業開拓を更に推し進め、改革を深め、発展を急ぐことに関する実施意見」について審議し採択。また、会議では24日に四川省で発生した土砂崩れ事故を受けての習近平・総書記の重要指示の精神を真剣に伝達・学習し、河川の増水期における災害予防と安全な生産を全省で強化するための手配を行なった（6月28日付『南方日報』）。

5. 胡春華・省党書記、馬興瑞・省長が許又声・國務院華僑事務弁公室副主任と会談

●27日午前、上記会談で胡春華・省党書記は次のように述べた。広東省は華僑事務の多い省であるため、引き続き國務院華僑事務弁公室には指導とサポートをしていただき、華僑への奉仕、華僑との企業誘致交渉、文化・教育等の分野で意思疎通・協力を強化し、同省の華僑関連事業の発展水準を絶えず向上させてほしい（6月28日付『南方日報』）。

6. 鄧海光・副省長が米国とカナダのレセプションに出席

●28日、鄧海光・副省長が在広州米国総領事館の招きを受け、米国独立記念日レセプションに出席。2016年の広東省と米国の一般貿易額は1,182億米ドルに達し、米中貿易全体の5分の1強を占めている。在広州米国総領事は観光、科学技術、教育等の分野で同省との協力を推進していきたいと述べた（6月29日付『南方日報』）。

●29日、鄧海光・副省長が在広州カナダ総領事館の招きを受け、建国150周年ならびに中国・カナダ国交樹立47周年記念レセプションに出席し、次のように述べた。双方は将来的にクリーンエネルギー、ライフサイエンス、スマート製造、先進素材、観光、環境保護、金融等の分野における交流・協力を全面的に深め、中国・カナダ両国の長期的・健全・安定的な戦略的パートナー関係を発展させるべく、積極的に貢献していきたい（6月

30日付『南方日報』。

7. 「七一」（中国共産党創立記念日）を迎えるにあたっての慰問

●29日午後、胡春華・省党書記が広州市海珠区を訪れ、古くからの党員である洪輝氏（本年97歳、女性、1938年入党）を慰問し、洪氏と広く全省の党員に向けて、「七一」記念日の挨拶を行なった。江凌・省党秘書長等も同行（6月30日付『南方日報』）。

●27日午後、馬興瑞・省長が仏山市を訪れ、古くからの党員や殉職した党員の家族を慰問し、「七一」記念日の挨拶を行なった（6月30日付『南方日報』）。

8. 広東・香港・マカオ・ベイエリア研究院が設立

●29日、省発展改革委員会、省香港・マカオ事務弁公室、省社会科学院、南方財經オールメディア集団による上記研究院の設立と同時に、「広東・香港・マカオ・ベイエリア研究報告 Vol. 1」が発表された。慎海雄・省宣伝部長が設立式典に出席（6月30日付『南方日報』）。

（参考）世界4大ベイエリアの産業構造と貿易構造の比較

（出典）6月30日付『南方日報』

世界4大ベイエリア	第3次産業の比率	代表的な産業	起業時の特徴	発展の方向性
広東・香港・マカオ	55.6%	金融・海運・電子産業・インターネット関連	対外貿易	グローバルなイノベーション発展
東京	80%以上	設備製造・鉄鋼・化学工業・物流	製造業のイノベーション	日本の中心的な臨海工業地帯
サンフランシスコ	80%以上	電子産業・インターネット関連・バイオ	貿易・科学技術イノベーション	グローバルなハイテク科学技術研究開発センター
ニューヨーク	89.4%	金融・海運・コンピューター	港湾貿易	世界金融センターの中核

9. 省政協常務委員会議の開催

●29日午前、王栄・省政協主席主宰の上記会議で、省党第12期代表大会の精神を学習・貫徹し、「実体経済を鼓舞し、広東省の製造業を急いでミドル～ハイエンドの水準へ高めていこう」をテーマとした協議が行われた。袁宝成・副省長が進捗状況を報告（6月30日付『南方日報』）。

10. 中国共産党創立96周年を祝う座談会の開催

●6月30日午後、鄒銘・省組織部長が主宰し、「廖俊波に学び、合格党員になろう」と題した上記座談会を開催し、任学鋒・広州市党書記が講話を行なった。慎海雄・省宣伝部長が、廖俊波同志の先進的な業績に対する習近平・総書記の重要指示の精神を伝達（7月1日付『広州日報』）。

11. 習近平・国家主席が広東・香港・マカオ協力枠組み協定の署名式に出席

●7月1日、香港で上記署名式が行われ、習近平・国家主席立ち会いの下、キャリー・ラム香港行政長官、フェルナンド・ツイ・マカオ行政長官、何立峰・国家発展改革委員会主任、馬興瑞・省長が「広東・香港・マカオの協力を深め、ベイエリア建設を推進していくための枠組み協定」に署名（7月2日付『南方日報』）。

●7月1日午後、香港で「手を携えて共に広東・香港・マカオ・ベイエリアを建設し、力を合わせて世界レベルの都市圏を築こう」と題されたフォーラムが開催され、胡春華・省党書記、梁振英・全国政協副主席（前香港行政長官）、キャリー・ラム香港行政長官、フェルナンド・ツイ・マカオ行政長官、馬興瑞・省長、林念修・国家発展改革委員会副主任、仇鴻・中央政府在香港連絡弁公室副主任、姚堅・中央政府在マカオ連絡弁公室副主任、王偉中・深圳市党書記、林少春・常務副省長、江凌・省党秘書長、温国輝・広州市長が出席（7月2日付『南方日報』）。

II. 広州市

1. 任学鋒・市党書記がAB InBev グループCEO一行と会談

●26日、上記会談で任学鋒・市党書記は一行に歓迎の意を表するとともに、広州市の経済・社会発展状況について紹介し、次のように述べた。双方はそれぞれの強みを発揮し、協力モデルを更に刷新し、協力水準を高め、ウィンウィンを実現していきたい（6月27日付『広州日報』）。

※AB InBev（アンハイザー・ブッシュ インベブ）：ベルギーのルーヴェンを本拠地とする酒類メーカー。製造拠点は世界50か国以上。

2. 広州市代表团が2017年サマーダボス（世界経済フォーラム）に出席

●28日晚、2017年サマーダボスで、広州市政府主催、市商務委員会、市文化・放送・ニュース局、市外弁、広汽集团実施の「広州ナイト」が開催され、世界経済フォーラム主宰者のシュワブ教授、陳志英・常務副市長が挨拶を行なった。（6月29日付『広州日報』）。

●27日～29日、任学鋒・市党書記率いる広州市代表团が大連市で開催された2017年サマーダボスに出席。同代表团は開幕式で国内外の政界、著名企業・機関の責任者50人以上と会談し、広州市と同市が実践している新発展理念の新たな成果を積極的に宣伝し、発展のチャンスや投資環境についてプロモーションを行い、協力の商機を探った（6月30日付『広州日報』）。

※日本：三菱商事、NEC、三菱重工、タケダ製薬、JETRO等の代表と会談。

●28日午後、任学鋒・市党書記が世界経済フォーラム主宰者のシュワブ教授と会談。陳秋彦・省外弁主任、鄭建栄・省商務庁長、陳志英・常務副市長、潘建国・市秘書長等も同席。任書記は胡春華・省党書記、馬興瑞・省長からの挨拶を伝え、広東省、広州市の経済・社会発展状況、特に供給構造改革、イノベーションによる発展戦略、開放型経済の新たな体制で得られた新たな成果と同市のIAB（情報技術・AI・バイオ医薬）戦略について紹介した（6月30日付『広州日報』）。

3. 「七一」を迎えるにあたっての慰問

●先頃、任学鋒・市党書記が越秀区の社区を訪れ、末端の生活困窮黨員や古くからの黨員を慰問した（6月30日付『広州日報』）。

●30日午前、温国輝・市長が海珠区の社区を訪れ、末端の生活困窮黨員や古くからの黨員を慰問した（7月1日付『広州日報』）。

4. 劉悦倫・市政協主席がマカオ青年視察団一行と会談

●6月30日、劉悦倫・市政協主席がマカオ「広州100成長の旅」青年視察団一行と会談。李瑾・市政協副主席が座談会を主宰し、廖僖芸・マカオ在住広州市政協常務委員が挨拶を行い、マカオから約100人の青年が出席した。一行は広州大学城、広州地下鉄博物館、南沙明珠湾計画展示館、南沙トヨタ自動車工場等を視察（7月1日付『広州日報』）。

Ⅲ. 深圳市

1. 王偉中・市党書記が新疆ウイグル自治区を視察

●省党・政府代表団によるチベット自治区、新疆ウイグル自治区の視察終了後、23日～25日、王偉中・市党書記率いる市党・政府代表団が引き続き新疆ウイグル自治区カシュガル市等を視察。23日午前、広東・新疆ペアリング支援業務座談会が開催され、王書記が深圳市を代表して次のように述べた。カシュガル市の大きな変化は同自治区の発展・変化を示す素晴らしい縮図であり、習近平同志を核心とする党中央による新疆統治策が賢明かつ正確であることを十分に証明している。中央の政策決定・手配を揺るぎなく貫徹・実行すれば、同自治区は必ずや長期にわたって社会の安定という全体目標を実現できるはずである（6月26日付『深圳特区報』）。

2. 各市・政府代表団一行との会談等

●26日午前、王偉中・市党書記が範鋭平・成都市党書記率いる同市党・政府代表団一行と会談。双方は科学技術イノベーション、軍民融合、観光・文化、金融・産業、対外開放等の分野における実務協力を更に強化していくことで合意（6月27日付『深圳特区報』）。

●27日昼、張虎・常務副市長が周異決・百色市長率いる同市党・政府代表団一行と会談。双方は広東省と広西チワン族自治区の手配・要求に基づき、業務責任を真剣に実行し、多分野における貧困救済協力を絶えず深め、精緻な貧困救済・貧困脱却を推進し、全国で小康社会を全面的に築き上げることに貢献していくことで合意。同日、百色市政府が同市の重点産業投資プロモーションならびにプロジェクト署名式を開催し、陳彪・深圳市副市長、周異決・百色市長が出席（6月28日付『深圳特区報』）。

●28日、王偉中・市党書記が唐一軍・寧波市党書記率いる同市党・政府代表団一行と会談。双方は国の重要な「一帯一路」イニシアチブを実行し、「深圳・寧波ウィーク」というプラットフォームを十分に利用し、先進製造業、現代金融業、保険業の刷新、文化産業、港湾物流等の分野における協力を強化していくことで合意。同日、寧波・深圳投資協力プロモーションならびにプロジェクト署名式が開催され、唐一軍・寧波市党書記、裘東耀・寧波市長、陳彪・深圳市副市長、BYD、ZTE、Eternal Asia（怡亞通、グローバル・サプライチェーン）、中国平安（保険業）等の深圳市の著名企業代表300人余りが出席。33のプロジェクトに署名し、投資総額は約900億元だった（6月29日付『深圳特区報』）。

3. 在広州イスラエル総領事が深圳市を訪問

●29日、艾学峰・副市長が在広州イスラエル総領事と会談し、双方は高等教育、イノベーション分野における国際協力について、踏み込んだ意見交換を行なった。2016年10月、深圳大学・ヘブライ学院が正式に設立され、双方は院生の育成に力を入れ、国際協力を進めている（6月30日付『深圳特区報』）。

4. 「七一」を迎えるにあたっての慰問

●29日午前、王偉中・市党書記が龍華区を訪れ、末端の生活困窮黨員や古くからの黨員を慰問し、広く全市の黨員に向けて、「七一」記念日の挨拶を行なった（6月30日付『広州日報』）。

5. 吳以環・副市長がハーバード・ケネディスクール学長一行と会談

●6月30日、吳以環・副市長がダグラス・エルメンドルフ・ハーバード・ケネディスクール学長、エモリー大学副学長一行と会談するとともに、イノベーション経済管理、健康・医学分野における両校とハルビン工業大学（深圳）の協力について深く検討した（7月1日付『深圳特区報』）。

※ダグラス・エルメンドルフ学長は、オバマ政権で議会予算局の局長を務めていた。

※エモリー大学は陰のアイビーリーグや新アイビーリーグなどと称される最難関名門私立大学の1つ。医学部・病院・附属研究機関が同大学の主要部分を占めており、周辺には世界有数の疫学研究機関であるアメリカ疫病予防管理センター等が隣接し、全米における疫学研究の一大拠点を形成している。